

IPSHU 研究報告シリーズ

研究報告 No. 45

平和構築と治安部門改革 (SSR)
—開発と安全保障の視点から—

上杉勇司・長谷川晋 編

目 次

序 論： 平和構築と治安部門改革 (SSR)	上杉勇司
----- 第一部：SSR の概要 -----	
第 1 章： 治安部門改革 (SSR)	
—「安全保障」と「開発」の結合 (nexus) ?—	藤重博美
第 2 章： 平和構築における二つのSSR	
—安全保障と開発援助のSSRをめぐる交錯—	篠田英朗
コラム 1： グッド・ガバナンスと民主的ガバナンス	
—治安分野における民主的統制の強調—	室谷龍太郎
----- 第二部：SSR に関わるドナーの取り組み -----	
第 3 章： 国連の包括的SSR支援への統一のアプローチ： One UN	香川めぐみ
第 4 章： OECD/DACとSSR	
—共通の開発課題から政策課題へ—	工藤正樹
コラム 2： 民間軍事企業 (PSC) とSSR	長谷川晋
----- 第三部：SSR の諸活動 -----	
第 5 章： 平和構築と警察改革支援	
—「法の支配」の基本的方向性と「質的転換」—	古澤嘉朗
第 6 章： DDRとSSR	
—「人間中心」の理念を目指すDDRの視点から—	山根達郎
第 7 章： 治安部門改革 (SSR) における司法改革	
—コソボにおける経験を参考として—	太清伸
コラム 3： SSRと移行期の正義	二村まどか
----- 第四部：SSR の事例研究 -----	
第 8 章： 旧ユーゴスラビア諸国におけるSSRの特徴と課題	中内政貴
第 9 章： モザンビーク	中澤香世
コラム 4： 東ティモールにおけるSSR	安藤友香
コラム 5： 構想と実施の格差	
—アフガニスタンにおけるSSRの変遷—	今井千尋
コラム 6： ネパールでの一年を通じて	坂英樹
コラム 7： “フィールドからの視点”	
—UNMINにおける軍事監視要員としての経験紹介—	酒井学
あとがき—SSR研究の課題	長谷川晋

執筆者一覧

上杉勇司（広島大学大学院国際協力研究科准教授）
藤重博美（名古屋商科大学外国語学部国際教養学科専任講師）
篠田英朗（広島大学平和科学研究センター准教授）
室谷龍太郎（国際協力機構 JICA 研究所リサーチ・アソシエイト）
香川めぐみ（元内閣府国際平和協力研究員）
工藤正樹（国際協力機構 東・中央アジア部副調査役）
長谷川晋（広島大学大学院国際協力研究科博士課程後期）
古澤嘉朗（広島大学大学院国際協力研究科博士課程後期・日本学術振興会特別研究員 DC）
山根達郎（広島大学大学院国際協力研究科助教）
太清伸（広島大学大学院国際協力研究科博士課程後期）
二村まどか（国連大学サステイナビリティと平和研究所・学術研究官）
中内政貴（平和・安全保障研究所研究・企画主任）
中澤香世（亜細亜大学大学院客員教授）
安藤友香（大阪大学大学院国際公共政策研究科博士後期課程）
今井千尋（在アフガニスタン日本国大使館一等書記官）
坂英樹（陸上自衛隊 3 等陸佐）
酒井学（陸上自衛隊 3 等陸佐）